

研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
 ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/



◆◆平成27年度遠隔学習プログラム研修講座終了◆◆

<研修テーマ>

「豊かな学びへの道しるべ」～遠隔学習の手法を活用した学習環境づくりを目指して～

平成27年8月7日(金)に道民活動センタービル「かでる2・7」を会場に、平成27年度遠隔学習プログラム研修講座を開催しました。教職員、社会教育関係職員、民間団体(NPO等)関係者31名が参加し、「遠隔学習による学習機会の提供の在り方」について学びました。本号ではその研修内容のポイントを紹介します。

◆講座実施の背景◆

〔国の動向〕

■第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理

情報通信技術の進展に伴い、ICTの活用が日常生活に浸透する中で、地理的・時間的制約を超えとともに双方向性の特長を有するICTを効果的に活用した学習(eラーニング)を推進することが有効である。

〔道の動向〕

■第3次北海道生涯学習推進基本構想

- ・本道の広域分散型の地域性に対応した学習環境を充実させるためには、インターネットサービスの有する双方向性の特性を生かした多様な学習機会を提供するとともに、こうした学習活動の組織化や支援体制づくりを進めることが必要である。
- ・地域での遠隔学習を推進するためには、大学など高等教育機関等と連携し、インターネットサービス等の情報通信技術を活用できる体制を構築することが必要である。

「北海道教育推進計画(第4次北海道教育長期総合計画)」

■広域性に対応した学習環境の充実

地域で生涯学習にICTを活用できるよう、地域で活動している「中間支援人材」の研修機会を提供
 ※中間支援人材～行政と住民の間に立って、住民の学習活動を支援する地域のリーダー等のこと

◆ 講座内容～基調講義～ ◆

◆ テーマ

「生涯学習における遠隔学習の可能性
 ～世界で急速に広がるMOOC(大規模公開オンライン講座)の現状と展望～」

◆ 講師

明治大学研究知財戦略機構特任教授
 一般社団法人日本オープンライン教育推進協議会常務理事・事務局長 福原 美三 氏

◆ 内容

- 2012年にアメリカで始まったMOOC
- ・有名大学の講義がインターネットで提供
- ・“入学試験なし”“授業料なし”
- ・講義を聞いて試験に合格すると修了証が授与
- MOOCをどのように受講するのか
- ・各大学のWebサイトで提供するのではなく、MOOC事業者が多くの大学から講座の提供を受け、配信している。
- 講義を受けたい人は、講座一覧から選んで受講
- MOOCが発達した背景①(アメリカの場合)
- ・学生の多くが自分で授業料を払うが、有名私大の授業料は高額で授業料支払いのためにローンを組む学生も多い。
- ・経済状況の悪化により、卒業後の収入が保証されなくなり、多くの債務者が発生
- 経済的に恵まれた人間だけが大学に進学できるという“格差”への解決策として期待

○MOOCが発達した背景②(アメリカの場合)

- ・技術やサービスが充足し、MOOCを提供できる素地があがった
- ・講義を無償で提供することの教員の心理的抵抗がなくなった(世界的に大学の講義の公開が活発化)

○日本でのMOOC=JMOCの活動

- ・JMOCの登録者の平均年齢は、43.4歳(男性67%、女性33%)、延べ登録学者数383,000人(H25.7月末)

○JMOCの講座の特徴

- ・日本語を中心とした講座で、すべての講義映像に字幕つき
- ・“反転講義”が多数実施されている
- ※反転講義～講義動画の視聴や課題提出により基本的な内容を学習し、その後対面授業で先生からの解説も交えた受講生同士の議論を通じて、対象への理解をより深めること。

(講義資料から抜粋)



◆ 講座内容～演習～

◆ テーマ

「映像撮影・編集、動画配信の基礎基本」

◆ 講師

学校法人電子開発学園メディア教育センター 朝倉 雅博 氏

◆ 内容

○ビデオ撮影の基礎 1

- ・必要な情報を画面に入るようにする
- ・映像よりも音に留意する

○ビデオ撮影の基礎 2 (サイズと構図)

- ・フルショット (広く撮影、場所の全体像。人物の様子はらかにくい)
- ・ミディアムショット (場所と人物のおおまかな様子)
- ・アップショット (人物の表情や動作が詳しくわかる)

○ビデオ撮影 3 (オート機能の活用)

- ・顔認識、シーン認識、オートフォーカス

○編集の基礎 1～編集とは～

- ・撮影した映像から必要な部分を抜き出し、見せたい部分を抜き出し、見せたい順番に並べ替えること。

○編集の基礎 2～映像のつながりかた

- ・カットつなぎ (瞬時に切り替える)
- ・ディゾルブつなぎ (ゆっくりと切り替える)
- ・ワイプつなぎ (画面を分割して切り替える)

○編集の基礎 3～編集環境～

- ・編集用 PC (Core i シリーズ、メモリ 8 GB 以上)
- ・ビデオ編集ソフト (Windows ムービーメーカー等)
- ・周辺機器 (データ保存用大容量 HDD、BD ドライブ、ヘッドホン、音声マイクなど)



○編集の基礎～Windows ムービーメーカーを利用する～

- ①ビデオカメラを PC につなぎ、ビデオをインポート
- ②インポートしたビデオをムービーメーカーに読み込む
- ③ビデオの並び替え、削除 (タイムラインにあるアイテムを操作)
- ④ビデオをトリムする (編集ツールの「トリムツール」で開始位置と停止位置を設定)
- ⑤ビデオを分割する→再生マーカーを移動させて、編集ツールの「分割」をクリック
- ⑥切り替え効果をつける→アニメーションツールの「切り替え効果」から選択
- ⑦ビデオの調整→視覚効果ツールを使用
- ⑧音の調整→編集ツールの「ビデオボリューム」「フェードイン」「フェードアウト」
- ⑨文字情報 (タイトル、キャプション、クレジット) をつける→ホームツールから選択

○編集のポイント

- ・講習会や授業など
- 原則、全てを録画して前後に必要な情報を加える
- 途中の不必要な部分があれば削除する
- ・イベント記録など
- どれだけ見てもらうかに応じて時間を決め、必要な部分を使用する
- ・5W1H と起承転結を意識する

○動画配信の方法 (YouTube の例)

- ・Google アカウントを取得
- ・ムービーメーカーから直接配信 (ホームメニューの「共有」で利用するサービス選択、サイズの設定、共有サービスへのサインイン)
- ・動画の設定 (パブリック=全ての人が視聴可能、プライベート=自分だけ視聴可能)
- ・書き出し作業とアップロード (自動) 作業→配信完了 (講義資料から抜粋)

遠隔学習の手法を活用して社会教育事業の充実を！！

本研修会の開催に合わせて、全道 179 市町村教育委員会社会教育担当職員の皆様を対象にアンケート調査を実施しました。ここでは、集計結果 (一部) をお知らせします。

■ 調査期間 平成 27 年 6 月 23 日～平成 27 年 7 月 31 日 ■ 回収結果 52.5% (94 市町村)

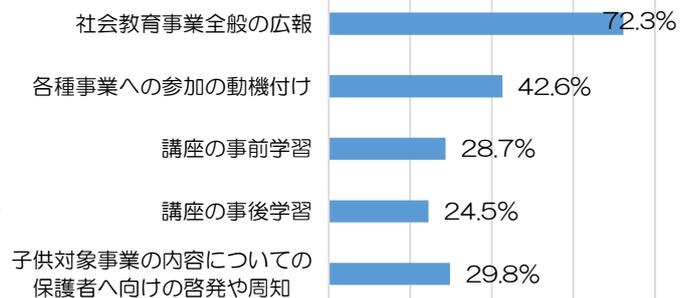
問 既に社会教育事業に遠隔学習の手法を取り入れていますか。

いない 96.8% (91 市町村)
 いる 3.2% (3 市町村)

※「いる」と回答した市町村の取組内容

- ・教育委員会主催ではないが連携している高等教育機関が実施している。
- ・道民カレッジ「ほっかいどう学」大学インターネット講座を活用して、既存の事業を実施した。

問 講座の配信だけではなく、遠隔学習の手法をどのように活用できそうですか。(複数回答)



遠隔学習の情報や貴市町村での取組に関しては、お気軽に北海道立生涯学習センターへお問合せください。当センターでは、「ほっかいどう学」大学インターネット講座を無料配信しています。「生涯学習ほっかいどう」(<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>) から「道民カレッジ」のページへお進みください。



◎研修のご案内◎

生涯学習推進基本講座 (生涯学習推進の基礎的な知識や技術の習得)

平成 27 年 10 月 8 日 (木) 稚内市 / 平成 27 年 10 月 23 日 (金) 乙部町



●本研修会事業報告書について●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報」(<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>) 並びに「平成 27 年度主催講座一覧」(<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyo/h27/index.html>) に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：本田 (☎ 011-231-4111 内線 36-325) まで御連絡ください。